

## 2020 年度生体超分子複合体構造解析ビームライン（大阪大学蛋白質研究所） 共同利用研究課題募集要項

大阪大学蛋白質研究所では、SPring-8 に設置した生体超分子複合体構造解析用ビームライン BL44XU の共同利用研究課題の募集を下記の通りに行います。

### 1. ビームラインの概要

本ビームラインは、蛋白質複合体、蛋白質核酸複合体、ウイルスなどの生体超分子複合体を中心として、生体内で機能している状態での生体分子あるいは生体分子複合体を対象とした構造解析を行い、その機能を解明していくことを目的として設置されています。詳細に関しては、WWW 上で公開していますので参照して下さい。（<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/rcsf/supracryst/research/beamline/>）

### 2. 応募資格

国公立大学及び国公立研究機関、並びにこれに準ずる機関の研究者

### 3. 研究期間

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの 1 年間

### 4. 応募方法

所定の申請書： 1 部

\* 申請書および本募集要項は、下記ホームページからも入手できます。

①蛋白質研究所共同利用・共同研究拠点HP <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/kyoten/>

②蛋白質研究所HP <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>

提出期限：2019 年 12 月 2 日（月）[必着]

提出先：大阪大学蛋白質研究所会計係（拠点プロジェクト班）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2

TEL: 06-6879-4323 E-mail: [tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp)

\*「ビームライン共同利用研究課題申請書在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。

### 5. 採否

蛋白質研究所専門委員会の議を経て所長が採否を決定し、2020 年 3 月初旬頃に申請者に通知します。

### 6. 成果の報告

課題終了時に、その研究状況および成果を記載した利用課題実験報告書を提出するとともに、課題実施期終了後 3 年以内に査読付き論文または SPring-8 利用成果集にて成果を公開して下さい。また、本課題で得られた成果に基づいて学術論文として出版された場合は、本ビームラインを利用したことを(例)のように明記し、その別刷り 1 部を提出するとともに、SPring-8 の研究成果データベースに登録して下さい。

(例) This work was performed using a synchrotron beamline BL44XU at SPring-8 under the Collaborative Research Program of Institute for Protein Research, Osaka University. Diffraction data were collected at the Osaka University beamline BL44XU at SPring-8 (Harima, Japan) (Proposal No. 2019AXXXX, 2019BXXXX, and 2020AXXXX).

※後半の文章にある 2019AXXXX というのが半年ごとにつけられる課題番号

SPring-8 課題番号は、

西暦・期 (A または B) ・蛋白質ビームライン共同利用研究課題番号となっている。

また、成果に関わる実験に利用した課題番号の全てを記入すること。

### 7. その他

①上記「1. ビームラインの概要」の設置目的に沿った課題を優先的に採択します。申請にあたっては、試料に関する予備的な研究（格子定数の決定等）が行われていることを必要としませんが、少なくとも結晶化に向けてのサンプル調製あるいは予備実験を開始していることが望まれます。

②本実験課題が採択された場合、実験責任者は、大阪大学蛋白質研究所共同研究員になっていただきます。共同研究員として旅費の支給を希望される方は、申請書の該当する欄に記入して下さい。なお、旅費の支給は、原則として、研究課題 1 課題につき 1 年度あたり 2 回分とします。ただし、

この場合の1回分とは1名が一回旅行する分の旅費をいい、全体として旅行者数×回数の積算が2を超えないことを条件とします。

- ③本募集提出期限後に結晶ができた等の理由で緊急で実験を希望される場合には、提出期限以降でも緊急課題として受け付けますので、下記「8. 問い合わせ先」教員にご相談下さい。
- ④研究協力者を加えた研究組織を構成し研究をしていただくことができます。その際、学生（大学院生および学部学生等）を研究協力者に含めることができます。
- ⑤実験責任者および研究協力者が SPring-8 にて実験を行う際、予算の範囲内において、規定により交通費および滞在費を支給いたします。

## 8. 問い合わせ先

大阪大学蛋白質研究所附属蛋白質解析先端研究センター 中川敦史

Tel: 06-6879-8635 Fax: 06-6879-4313 e-mail: [bladmin@protein.osaka-u.ac.jp](mailto:bladmin@protein.osaka-u.ac.jp)